

[表面] 試験が始まる前にこの頁に書いてあることをよく読んでください。
 (裏面は試験問題になっているので、指示があるまで見てはいけません)

第一種電気工事士 技能試験 [試験時間 60分]

<< 注意事項 >>

1. 電線接続箇所テープ巻きは省略し、作品は保護板（板紙）に取り付けないものとします。
2. ケーブル及び絶縁電線の被覆のはぎ取り方法は、直角むき又は鉛筆むきのどちらでもよいものとします。
3. 電源側電線及び施工省略部分への電線の端末は、切断したままとします。
4. 受験番号札に受験番号及び氏名を記入し、試験終了後、作品にしっかりと取り付けてください。取り付け位置は、どこでも結構です。
5. 試験終了後は、速やかに作業をやめてください。試験終了後も作業を続けている場合は、失格となります。

<< 支給材料等の確認 >>

試験開始前に監督員が指示しますので、指示に従って与えられた材料等を下記の材料表と必ず照合し、材料の不良や不足等があれば監督員に申し出てください。

ただし、監督員の指示があるまで照合はしないでください。

材 料	
1.	高圧絶縁電線 (KIP), 8mm ² , 長さ約 200mm 1本
2.	600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (シース青色), 2.0mm, 2心, 長さ約 800mm 1本
3.	600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形, 1.6mm, 3心, 長さ約 750mm 1本
4.	600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形, 1.6mm, 2心, 長さ約 1100mm 2本
5.	600V ビニル絶縁電線, 5.5mm ² , 緑色, 長さ約 200mm 1本
6.	600V ビニル絶縁電線, 1.6mm, 緑色, 長さ約 200mm 1本
7.	端子台 (変圧器の代用), 3P 1個
8.	ランプレセプタクル (カバーなし) 1個
9.	埋込連用取付枠 1枚
10.	埋込連用タンブラスイッチ (3路用) 2個
11.	埋込連用タンブラスイッチ (2極用) 1個
12.	埋込連用コンセント 1個
13.	埋込コンセント (15A250V 接地極付) 1個
14.	ジョイントボックス (アウトレットボックス 19mm ノックアウト 2箇所及び 25mm ノックアウト 4箇所打抜き済み) 1個
15.	ゴムブッシング (19) 2個
16.	ゴムブッシング (25) 4個
17.	リングスリーブ (小) (予備品を含む) 12個
18.	差込形コネクタ (2本用) 4個
<ul style="list-style-type: none"> ・ 受験番号札 1枚 ・ ビニル袋 1枚 	

<< 試験中の材料等支給 >>

端子ねじ、リングスリーブ及び差込形コネクタは、作業のやり直し等により不足が生じた場合、申し出（挙手をする）があれば追加支給します。なお、追加支給しても減点の対象とはなりません。

ただし、その他の材料（電線類、器具等）は追加支給をしませんので、注意してください。

< 施工条件 >

1. 配線及び器具の配置は、**図1**に従って行うこと。
2. 変圧器代用の端子台は、**図2**に従って使用すること。
3. 変圧器代用の端子台の結線は、**図3**に従って行うこと。
4. 3路スイッチの配線方法は、次によること。
 - ・ 3路スイッチの記号「0」の端子には電源側又は負荷側の電線を接続し、記号「1」と「3」の端子にはスイッチ相互間の電線を結線する。
5. 電線の色別（ケーブルの場合は絶縁被覆の色）は、次によること。
 - ① 接地線は、**緑色**を使用する。
 - ② 接地側電線は、すべて**白色**を使用する。
 - ③ 100V回路の3路スイッチ及びコンセントに至る非接地側電線は、すべて**黒色**を使用する。
 - ④ 200V回路の変圧器u相からコンセントに至る配線は、すべて**黒色**を使用する。
 - ⑤ 次の器具の端子には、**白色**の電線を結線する。
 - ・ ランプレセプタクルの受金ねじ部の端子
 - ・ コンセントの接地側極端子（Wと表示）
6. ジョイントボックスA及びVVF用ジョイントボックスB部分を経由する電線は、その部分ですべて接続点を設け、その接続方法は、次によること。
 - ① A部分の接続箇所は、リングスリーブによる終端接続とする。
 - ② B部分の接続箇所は、差込形コネクタによる接続とする。
7. 埋込連用取付枠は、3路スイッチ（イ）及びコンセント部分に使用すること。
8. ジョイントボックスは、**打抜き済みの穴だけをすべて**使用すること。
9. ランプレセプタクルの台座のケーブル引込口は欠かずに、ケーブルを下部（裏側）から挿入すること。